

保護者様

横浜市立矢向小学校
校長 沼田 留美子

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年度実施した、全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生対象）の結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取り組みについてご説明させていただきます。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの資質・能力を育成することに引き続き取り組んでまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をさせていただきますよう、お願いいたします。

(1) 教科学習状況調査結果「平均正答率」

	国語	算数
矢向小学校	67%	66%
横浜市	67%	65%
神奈川県	66%	63%
全国	67%	63%

<全国の平均正答率との比較>

	全国を上回った、主な問題 【評価の観点】・出題の趣旨	課題のある問題 【評価の観点】・出題の趣旨
国語	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 日常よく使われる敬語を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる。（正答率が低い） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（正答率が低い） 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。（無解答率が高い）
算数	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正三角形の意味や性質について理解している。 百分率で表された割合について理解している。 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる。 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる。 (2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考慮することができる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができる。（正答率が低い） 台形の意味や性質について理解している。（正答率が低い） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる。（無解答率が高い）

【教科学習状況調査結果の考察】

「国語」は神奈川県、「算数」は全国、神奈川県の平均正答率を上回る結果となりました。問題形式別の正答率を見ると、「国語」「算数」いずれも、「選択式」「短答式」の正答率が「全国」「神奈川県」の平均よりも高く、「記述式」の正答率は、国語では「全国」の平均よりも低く、算数は「全国」「神奈川県」の平均よりも高くなっています。

今後は、より一層自分の考えを記述する力を高める学習をしていく必要があります。国語では、思考力・判断力・表現力等の育成を充実していくとよいことが分かりました。また、国語の無解答率が「全国」「神奈川県」を上回る結果となりました。日頃の学習から、ねばり強く取り組んだり、失敗を恐れずチャレンジ精神をもって取り組んだりする力を、今後も継続して育成していく必要があります。算数においては、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等の正答率が全国と比べて同程度上回っているため、今後もバランスよく育てていきたいです。

(2) 質問紙調査結果

＜全国平均との比較＞ ※数字はいずれも、「とても当てはまる」を選択した児童の割合 ※（ ）内は、全国平均の割合

【全国平均を上回った主な質問】

- 読書は好きですか。…44.0% (39.4%)
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)。…31.3% (28.7%)
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。…40.3% (30.5%)
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。…35.1% (31.8%)
- 国語の勉強は好きですか。…29.1% (23.8%)
- 国語の勉強の内容はよく分かりますか。…45.5% (40.4%)
- 国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか。…33.6% (28.9%)
- 算数の勉強は好きですか。…37.3% (34.8%)

【全国平均を下回った主な質問】

- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。…26.9% (32.0%)
- 将来の夢や目標をもっていますか。…56.0% (60.8%)
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。…24.6% (33.2%)

【質問紙調査結果の考察】

「国語」も「算数」も、それぞれの「勉強は好きですか。」に対する「とても当てはまる」の回答率が共通して全国平均を上回りました。また、「授業の内容はよく分かりますか。」に対する「とても当てはまる」の回答率も全国平均を上回るか同程度の結果になりました。授業の理解に加え、学ぶことの大切さを実感している児童が多いたることが分かります。また課題の解決に対して、自分で考え、まとめて発表する活動に自分から取り組んでいる児童も多いたことが分かりました。この結果は、分かる楽しい授業を目指し授業改善を行ってきた成果と捉えることができます。

一方で、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」「将来の夢や目標をもっていますか。」という設問に対して肯定的な回答をしている児童が、全国平均を下回る結果となりました。本校が重点的に研究している、生活科(1,2年生)では自分の思いや願いを実現できる経験、総合的な学習の時間(3年生以上)では、自分たちで夢を設定して、その夢の実現に向けて粘り強く学習する経験を積み重ねていけるようにする必要があります。

(3) 学力向上に向けた今後の取り組み

- ・児童が必要感をもって基礎的な知識、技能を正しく身に付けられる授業づくりを継続します。
- ・地域の教育力を積極的に活用することで、自分づくりの観点からも夢をもって、学習したり生活したりできるようにします。
- ・対話的な学びの場面を意図的に設定し、自分とは異なる意見も受け止め、自分の考えと比較しながら考えを広げたり、深めたりできる力を育てます。